

令和6年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費
担当課	地域力創造課
事業名	ひろしまスタイル定住促進事業（一部国庫）

目的

ウェブやチャットボット等のデジタル技術を最大限活用し、情報提供及び相談対応の強化を図ることで、移住を検討している層に対して「都市と自然の近接性」という地域特性を生かした広島らしいライフスタイルを提案し、その実現を後押しすることにより、東京圏等から本県への移住・定住を促進する。

事業説明

対象者

東京圏を中心とした移住希望者、市町

事業内容

(単位：千円)

内 容	今回予算額
広島らしいライフスタイルの魅力発信	42,227
移住希望者と地域のマッチング	22,555
移住者に対する受け皿づくり	84,398
合 計	149,180

成果目標

- 事業目標 : 東京相談窓口相談件数 (R4実績) 4,011件 (R6目標) 3,700件
HIROBIRO新規会員登録者数 (R4実績) 700人 (R6目標) 1,055人
- ワーク : 45 若年者等の県内就職・定着促進
- ワーク目標 : 県外からの移住世帯数 (R4実績) 596世帯 (R6目標) 665世帯 (R7目標) 705世帯

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回予算額	149,180	47,710	0	0	0	0	0	0	101,470
前年度当初予算額	168,701	47,700	0	0	0	0	0	0	121,001

※国庫支出金のうち、デジタル田園都市国家構想交付金(47,710千円)

令和6年度当初予算

支出科目	款：総務費 款：労働費	項：総務管理費 項：雇用対策費	目：国際交流費 目：雇用対策事業費
担当課	国際課、雇用労働政策課		
事業名	外国人材の受入・共生対策事業（一部国庫）		

目的

県内企業等において、特定技能等の外国人材の受入れが適正かつ円滑に行われ、外国人が、県内企業で活躍し、孤立することなく県民の一員として地域に溶け込み、安心して生活できる環境を整える。

事業説明

対象者

外国人材を受け入れている又は受け入れようとしている県内企業、県内在住の外国人、県民

事業内容

		(単位：千円)
区分	内容	今回予算額
外国人材の受入・共生対策事業 【商工労働局】	○外国人材受入企業等への情報提供の充実 外国人材の雇用に課題を抱えている企業等を対象としたセミナー及び経済団体・業界団体等のニーズや課題に対応したオーダーメイド型の出前講座の実施等	3,707
多文化共生の地域づくり支援事業 【地域政策局】	○外国人との共生推進事業 外国人が地域と繋がりを持ちながら、生活に必要な情報を共有できる仕組みづくりを市町と連携して実施 ○異文化理解促進プログラム 小中高生を対象とした異文化体験講座等を実施	4,986
	○外国人専門相談窓口の運営及び地域日本語教室の拡充 在留資格や労働問題などに関する多言語専門相談窓口の運営と、地域日本語教室の拡充に向けた取組を実施	40,925
	○外国人への情報提供の充実 県ポータルサイト(Live in Hiroshima)から、生活関連情報、地域行事、イベント情報等を多言語でSNS等により発信等	1,846
小 計		47,757
合 計		51,464

成果目標

(就労面)

- 事業目標 : 情報提供企業数 (R4実績) 641社 (R6目標) 500社 (R7目標) 500社
- ワーク : 48 外国人が円滑かつ適切に就労し、安心して生活できる環境整備
- ワーク目標 : 県から外国人材の受入れに関する情報提供を受けた企業のうち、有益な情報を得た企業等の割合 (R4実績) 94.1% (R6目標) 75.0% (R7目標) 80.0%

(生活面)

- 事業目標 : (1)キーパーソン活動市町(累計)
(R4実績) 10市町 (R6目標) 18市町 (R7目標) 23市町
(2)異文化理解促進プログラム(累計)
(R4実績) 10市町 (R6目標) 23市町 (R7目標) 23市町
(3)空白地域への新教室の開講
(R4実績) 7地域 (R6目標) 17地域 (R7目標) 24地域
(4)Facebookフォロワー数
(R4実績) 3,287 (R6目標) 4,100 (R7目標) 4,600
- ワーク : 27 外国人が安心して生活できる環境整備
- ワーク目標 : 生活で困っていることがない(困った時に、すぐに相談できるを含む)と答えた外国人の割合 (R4実績) 55.9% (R6目標) 65.0% (R7目標) 70.0%

事業費

(単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回予算額	51,464	14,633	0	0	0	0	33,124	0	3,707
前年度当初予算額	51,969	14,499	0	0	0	0	33,763	0	3,707

令和6年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：スポーツ推進費
担当課	スポーツ推進課
事業名	スポーツを活用した地域活性化推進事業（単県）【一部新規】

目的

スポーツを核とした豊かな地域づくりに向け、スポーツを活用した地域活性化に取り組む。

事業説明

対象者

市町、スポーツ関係団体、県民等

事業内容

区分	内 容	(単位：千円)
		今回予算額
県内各地域の 取組支援 【一部新規】	○県内市町が取り組む「わがまちスポーツ」への支援 ・アドバイザーボードによるノウハウ提供や人脈紹介などの人的支援 ・スポーツを活用した地域活性化に係るスタート時の取組費用の一部に対する財政支援 《概要》 補助上限額：1市町あたり5,000千円 対象事業：スポーツを活用した地域活性化に資する事業 (ソフト事業及びソフト事業に付随するハード事業) 補助率：1/2	36,605
	○「わがまちスポーツ」の成果継続・定着への支援【新規】 ・スポーツを活用した地域活性化の取組成果の継続・定着に向けての推進体制強化への支援 《概要》 補助上限額：1市町あたり5,000千円 対象事業：スポーツコミッション設立等の推進体制強化に資する事業 (ソフト事業) 補助率：1/2	
県内スポーツの 応援環境の充実	○地域のスポーツ資源である様々なトップスポーツチームを最大限活用した、県民の関心を高めるためのプロジェクトの展開 ・広島横断型スポーツ応援プロジェクトTeamWISHの運営 ・県内スポーツチームと連携したイベント等の実施 ・県内スポーツチームと連携したSNS等による情報発信	29,940
スポーツアク ティベーション ひろしま(SAH) の組織運営	○スポーツを活用した地域活性化の推進に向けた、スポーツアクティベーションひろしまの運営	29,444
合 計		95,989

【わがまちスポーツ】
地域のスポーツ資源を活用して、それぞれが目指す地域の活性化を図る取組

【スポーツアクティベーションひろしま】
スポーツを活用した豊かな地域づくりに向け、地域のスポーツ資源を活用し、スポーツ関係団体との連携を図るとともに、ノウハウ等を十分に提供し、戦略的に進める観点から令和2年4月に広島県スポーツ推進課内に設置した広島版のスポーツコミッション

成果目標

- 事業目標：公式ホームページPV数 (R4実績) — ※HP改修のため (R6目標) 156,000 (R7目標) 184,000
- ワーク：71 スポーツを活用した地域活性化
72 誰もがスポーツに親しむ環境の充実
- ワーク目標：「わがまちスポーツ」により目指すべき姿に向け取組を実施している市町数
(R4実績) 8市町 (R6目標) 12市町 (R7目標) 14市町
スポーツを直接観戦した県民の割合
(R4実績) 28.4% (R6目標) 47% (R7目標) 50%

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回予算額	95,989	0	0	0	0	0	800	0	95,189
前年度当初予算額	96,624	0	0	0	0	0	800	0	95,824

令和6年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：総務管理費 目：国際交流費
担当課	平和推進プロジェクト・チーム
事業名	国際平和拠点ひろしま構想推進事業（単県）

目的

世界中のリーダーや研究者、NGOなど、幅広い人材や情報・知識、資金などの資源を広島に集め、結びつけ、つなぐことにより、核兵器廃絶や復興・平和構築などの分野の研究や活動が活発に展開される「国際平和拠点ひろしま」を実現することを通じて、平和で安定した国際社会の実現に貢献する。

事業説明

対象者

県民、世界平和を希求するすべての人々

事業内容

区 分		内 容	今回予算額
核兵器廃絶に向けた新たな政策づくりと多国間枠組みの形成	政策づくり事業	世界的な平和研究機関等と連携し、核抑止に替わる新たな安全保障政策づくりを推進する。（ひろしまラウンドテーブル開催、海外研究機関等と連携した政策提言プロジェクト、ひろしまレポート作成等）	64,065
	多国間枠組み形成事業	国連等と連携し、新たな安全保障政策をベースにした多国間枠組みの形成を図る。（NPT運用検討会議準備委員会での働きかけ、フレンズ会合設置準備、国際平和のための対話イベント等）	18,644
平和の取組への賛同者拡大と世界への働きかけ	国際社会等へのアトリーチ事業	国連や各国政府への働きかけ強化のため、多様な団体とのネットワーク化を図る。（国際会議等での働きかけ、賛同者拡大キャンペーン等）	28,850
広島が有する経験や資源を生かした復興・平和構築	人材育成強化事業	核兵器廃絶と国際平和の実現のため、グローバルに活躍し、平和貢献できる人材を育成する。（グローバル未来塾inひろしま、広島-ICANアカデミー等） 【広島サミットの成果を継続するため、広島-ICANアカデミー等にG7枠を設け、各国の若者を招聘】	18,220
持続可能な平和推進メカニズムの構築	プラットフォーム構築事業	多様な主体の参画を促すプラットフォームの構築を図るとともに、平和資源の集積機能等を備えた体制を整備する。（2025世界平和経済人会議ひろしま（仮称）の開催準備、WEBサイトを通じた賛同者拡大、へいわ創造機構ひろしまの運営等）	121,728
	拠点構想推進事業	国際平和拠点ひろしま構想推進のため、構想推進委員会の開催等を行う。	12,157
合 計			263,664

成果目標

- ワーク : 75 核兵器廃絶に向けた新たな政策づくりと多国間枠組みの形成
76 平和の取組への賛同者の拡大と世界への働きかけ
77 広島が有する経験や資源を生かした復興・平和構築
78 持続可能な平和推進メカニズムの構築
- ワーク目標 : 新たな政策に係る記事や論文等がメディアや研究者等から発信された数
（R4実績）27本 （R6目標）50本 （R7目標）100本
国連等で意見表明する資格を有するNGO等と連携した数（累計）
（R4実績）7団体 （R6目標）15団体 （R7目標）20団体
県が提供するプログラム等により、被爆、復興の歴史や被ばく者医療などについて学んだ人数
（R4実績）14,337人 （R6目標）18,000人 （R7目標）20,000人
国際平和拠点ひろしまのウェブサイトの会員数及びSNS等の登録者数やアクション数の月間の平均値
（R4実績）11,784件 （R6目標）27,000件 （R7目標）32,000件
プラットフォームに参加する企業・団体等の数（累計）
（R4実績）28団体 （R6目標）500団体 （R7目標）1,000団体

事業費

（単位：千円）

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回予算額	263,664	0	0	0	0	0	816	0	262,848
前年度当初予算額	157,081	0	0	0	0	0	770	0	156,311

令和6年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費 款：土木費 項：道路橋梁費 目：道路新設改良費
担当課	都市圏魅力づくり推進課
事業名	広島西飛行場跡地活用推進事業（単県）

目的

広島都市圏における高次都市機能集積強化により中枢拠点性の向上を図る。

事業説明

対象者

広島市、民間事業者

事業内容

広島西飛行場跡地利用計画に基づき、事業主体である広島市と共同で関連事業に取り組む。

(単位：千円)

区分	内容	今回予算額
基幹道路等の整備等	○ 道路詳細設計及び工事 〔負担割合：県1/2・広島市1/2〕	67,500
多目的スポーツ広場の整備	○ 工事（上物整備工事、設備工事） 〔負担割合：県1/2・広島市1/2〕	92,000
新たな産業（にぎわい）ゾーンの活用に係る検討	○ 新たな産業（にぎわい）ゾーンの活用に係る検討経費	450
合計		159,950

成果目標

- 事業目標：広島西飛行場跡地の有効活用
(広島西飛行場跡地への交通アクセスの改善に資する道路整備、スポーツ・レクリエーション施設整備、新たな産業（にぎわい）ゾーンの活用に係る検討)

事業費

(単位：千円)

	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回予算額	159,950	0	0	0	0	0	0	159,500	450
前年度当初予算額	210,500	0	0	0	0	0	0	209,000	1,500

令和6年度当初予算・令和5年度2月補正

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費
担当課	都市圏魅力づくり推進課
事業名	サッカースタジアム等整備事業（単県）

目的

広島都市圏における中枢拠点性の向上を図るため、多機能化・複合化による広域的な集客力のあるサッカースタジアム及び広場エリア等を広島市と連携して整備し、県全体の活性化につなげる。

事業説明

対象者

県民等

事業内容

事業主体の広島市に対して、サッカースタジアム等整備経費（DB事業・P-PFI事業等）の一部を補助する。

【大規模事業基金充当】

（単位：千円）

区分	内容	負担割合	今回予算額	
			令和5年度 2月補正予算	令和6年度 当初予算
サッカースタジアム等 整備事業 (DB事業・ P-PFI事業等)	<ul style="list-style-type: none"> ○ スタジアム関連整備 ○ 広場エリア整備 ○ 施工監理 	広島市に措置される交付税相当額を差し引いた実質自治体負担額の1/2	115,608	176,557

【DB（デザイン・ビルド）】

設計及び施工を一体として発注する方式

【P-PFI（Park-PFI）】

民間事業者を公募により選定し、公園に飲食店、売店等（公園施設）を設置するとともに、その収益により広場等の公園施設（特定公園施設）の整備を行うことで、公共の財政負担を軽減しつつ、公園の質の向上、公園利用者の利便の向上を図るもの

成果目標

○ 事業目標：広島都市圏における中枢拠点性の向上

事業費

（単位：千円）

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回 予算額	令和6年度 当初予算	176,557	0	0	0	176,557	0	0	0
	令和5年度 2月補正予算	115,608	0	0	0	115,608	0	0	0
前年度 予算額	令和5年度 2月補正予算	▲77,769	0	0	0	▲77,769	0	0	0
	令和5年度 9月補正予算	147,000	0	0	0	147,000	0	0	0
	令和5年度 当初予算	104,037	0	0	0	104,037	0	0	0
	令和4年度 2月補正予算	153,170	0	0	0	153,170	0	0	0

令和6年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費
担当課	中山間地域振興課
事業名	元気さとやま応援プロジェクト（単県）

目的

中山間地域に暮らす人々が将来に向けて、地域の元気さを実感できる環境を創出するため、地域づくりに取り組む人材のプラットフォーム『ひろしま里山・チーム500』（以下、「チーム500」という。）の登録者が地域を巻き込み、地域と協働して行う新たな活動の立ち上げに必要な経費に対して、支援を行う。

事業説明

対象者

県民等

事業内容

内 容	(単位：千円) 今回予算額
○ 地域に密着した新たな活動の立ち上げに必要な経費を支援 【対象者】チーム500の登録者 【対象活動例】 <ul style="list-style-type: none">地域住民との接点の拡大を図るコミュニティ支援活動 (子供の学習支援、多世代が交流する拠点の整備、伝統文化の継承 など)仕事づくりを通じた地域との新たなつながりを生み出す活動 (遊休施設等を活用したカフェでの高齢者サロンの開催、耕作放棄地で栽培した農作物を原料とした加工品製造における地域雇用 など) 【補助率】補助対象経費の2/3（補助上限額1,000千円）	53,967

成果目標

- ワーク : 86 人材の発掘・育成、ネットワークの拡大
- ワーク目標 : チーム500の新規登録者数 (R4実績) 114人 (R6目標) 75人 (R7目標) 75人

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回予算額	53,967	0	0	0	0	0	308	0	53,659
前年度当初予算額	53,029	0	0	0	0	0	249	0	52,780

令和6年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費
担当課	中山間地域振興課
事業名	集落対策推進費（一部国庫）【新規】

目的

急速な人口減少と高齢化の進む中山間地域において、住民が安心して暮らし続けていくための集落対策を、住民、住民自治組織、行政等の関係者が一体となって推進する。

事業説明

対象者

中山間地域の住民、住民自治組織及び市町等

事業内容

(単位：千円)

区分	内容	今回予算額
中間支援機能の構築	○地域住民の話合いや計画づくりを伴走支援する専門人材の育成・派遣 ○集落対策の必要性について意識啓発を図るワークショップの開催	15,301
生活サービスの確保	○食料や燃料等の生活物資を供給するサービスなどを確保するための持続可能な仕組みづくり	9,999
アドバイザーボードの構築	○集落対策の取組を客観的に評価し、必要な見直しなどの助言を行う有識者組織の構築	2,987
合計		28,287

成果目標

- 事業目標：専門人材の支援を受けて話合いに着手した住民自治組織数 (R4実績) — (R6目標) 12組織
- ワーク：86 人材の発掘・育成、ネットワークの拡大
- ワーク目標：チーム500の新規登録者数 (R4実績) 114人 (R6目標) 75人 (R7目標) 75人

事業費

(単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回予算額	28,287	14,143	0	0	0	0	0	0	14,144
前年度当初予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※国庫支出金のうち、デジタル田園都市国家構想交付金 (14,143千円)

令和6年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費
担当課	中山間地域振興課
事業名	デジタル技術を活用した中山間地域の生活環境向上事業（一部国庫）

目的

中山間地域が抱える生活に身近な課題について、デジタル技術を活用して解決するための新たなサービスを導入しようとする市町の取組を支援し、中山間地域に住む県民が安心して暮らすことができる生活環境づくりを進める。

事業説明

対象者

中山間地域を有する市町

事業内容

		(単位：千円)
区分	内容	今回予算額
実装への取組支援・共同実施事業の仕組みの検討	○デジタル技術を活用したサービスを通じて中山間地域における身近な生活課題の解決を図る市町に対し、課題分析や成果測定指標の設定等に係る伴走支援を行う。 【実施内容】 課題設定や課題解決のためのデジタル技術の選定支援 実装化に係る技術的助言 市町課題のセグメント化・共有化による取組の掘起し 等 ○複数市町の共同実施に向けた生活課題解決モデルの仕組みを検討する。 【実施内容】 複数市町共通課題の洗い出し 共通課題に対応するソリューションの構想策定 等	20,000
	○デジタル技術を活用したサービスの実装化に取り組む市町に対し、実装化に係る経費の一部を補助する。 【対象分野】生活交通、農地保全、医療・福祉、防災・減災、移住・定住など 【対象市町】課題解決に取り組む中山間地域を有する市町（市町による共同実施も可） 【補助率等】事業費の1/2	80,000
合 計		100,000

成果目標

- ワーク : 89 デジタル技術を活用した暮らしの向上
- ワーク目標 : 県の事業を通じ、デジタル技術を活用した課題解決に向けて取り組む件数（累計）
 (R5実績) 13件 (R6目標) 10件 (R7目標) 10件以上

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回予算額	100,000	9,933	0	0	0	0	0	0	90,067
前年度当初予算額	100,000	10,000	0	0	0	0	0	0	90,000

※国庫支出金のうち、デジタル田園都市国家構想交付金（9,933千円）

令和6年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：交通輸送対策費
担当課	交通対策担当
事業名	地域公共交通維持確保事業（単県）【一部新規】

目 的

地域の幹線的・広域的なバス路線、日常生活を支える市町等運行路線、県として維持すべき航路等、地域の暮らしや経済活動を支える地域公共交通を将来にわたって安定的に維持・確保する。

事業説明

対象者

市町、乗合バス事業者、鉄軌道事業者

事業内容

【市町振興基金充当】

(単位：千円)

区 分	内 容	今回予算額
生活交通確保対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ○バス運行対策費補助事業 広域的・幹線的な事業者バス路線に対して、運行経費等の補助を行う。 ①地域間幹線系統確保維持費<補助率：国 1/2 県1/2> 補助内容：補助対象費用と収益の差額（欠損額）を補助 ②地域間幹線系統確保維持費〔車両減価償却費等分〕 <補助率：国 1/2 県1/2> 新車で購入される補助対象車両の減価償却費及び金融費用 ③広域生活交通路線確保維持費<補助率：県1/2 市町1/2> 補助内容：補助対象費用と収益の差額（欠損額）を補助 <ul style="list-style-type: none"> ○事業者路線再編調査支援 各市町が行う路線再編のための調査費用の補助を行う。 <補助額：1/2（上限1,000千円）> 	473,385
市町生活交通支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ○日常生活圏に必要な生活交通を維持確保するため、市町が運行するバス路線等に対し、運行経費の補助を行う。 <補助額>年間走行キロ×補助単価×補助率 <補助率>全部過疎1/3、一部過疎1/4、非過疎1/6 	131,043
離島交通対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ○離島から本土への唯一航路の運航欠損額について、国の補助制度を補完し、離島航路所在市町に対して補助を行う。 <補助対象>7航路 <補助率>国：標準収支差に対する補助（国が算定） 収支差見込額から標準収支差を除いた額（県1/2、市町1/2） 	124,556
生活航路維持確保対策事業【一部新規】	<ul style="list-style-type: none"> ○離島や架橋で結ばれた地域の経済活動を支える航路について、欠損額に応じて関係市町が負担する額の一部の補助を行う。 ※航路の実態調査や実証実験を行う【新規】 <補助対象額>算定式に基づき算出 <負担割合>補助対象額に対して、県1/2、市町1/2 	128,161
LRTシステム整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ○「広島都市圏LRT整備計画」に基づく広域的な鉄道路線への低床式路面電車の導入に必要な費用の一部の補助を行う。 <補助率：国1/3、県1/12、市町1/12、事業者1/2> 	43,334
合 計		900,479

成果目標

- ワーク : 80 ネットワーク及び交通基盤の強化
- ワーク目標：拠点間のバス路線が維持された市町数
(R4実績) 23市町 (R6目標) 23市町 (R7目標) 23市町

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回予算額	900,479	0	0	0	0	700,000	0	0	200,479
前年度当初予算額	831,940	0	0	0	0	700,000	0	0	131,940

令和6年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：交通輸送対策費
担当課	交通対策担当
事業名	広島型MaaS推進事業（一部国庫）【一部新規】

目的

交通事業者・利用者・受益者（商業施設等）が主体的に連携し、デジタル技術を活用しながら、交通と生活サービスの相乗効果を生み出す「広島型MaaS」を県内全域に展開するとともに、新たな移動サービスの調査を行うことによって、地域公共交通の利便性と持続可能性の向上を図る。

【MaaS（マース）】

出発地から目的地までの移動ニーズに対して最適な移動手段をシームレスに一つのアプリで提供するなど、移動を手段としてではなく、利用者にとっての一元的なサービスとして捉える概念

【広島型MaaS】

交通手段の統合にとどまらず、地域（住民）が主体となり、交通事業者、商業施設等の交通受益者と連携し、定額制の導入や生活サービスの統合などを行った新たな交通サービス

事業説明

対象者

市町等

事業内容

（単位：千円）

区 分	内 容	今回予算額
広島型MaaSの推進	<p>○交通事業者、利用者、受益者が主体的に連携し、デジタル技術を活用しながら、交通と生活サービスの相乗効果を生み出す取組を実施する市町へ支援を行う。</p> <p>【補助要件】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活サービスとの統合を行うこと 社会実装を目指すものであること 地域公共交通計画に位置付けること など <p>【補助上限】</p> <p>5,000千円/1市町（補助率：10/10）</p>	16,200
新たな移動サービスの調査【新規】	<p>○交通空白地域における利便性と持続可能性を高める新たな移動サービスについて、将来的な社会実装に向けた調査を行う。</p> <p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな移動サービスの設計 実証実験の実施計画策定 	15,000
合計		31,200

成果目標

- 事業目標 : 広島型MaaS実施市町数 (R5実績) 3市町 (R6目標) 3市町 (R7目標) 3市町
- ワーク : 83 データと新技術を活用したまちづくり（スマートシティ化）の推進
90 持続可能な生活交通体系の構築
- ワーク目標 : デジタル技術を活用して都市や地域の抱える諸課題の解決に向けた取組に着手している市町数 (R4実績) 13市町 (R6目標) 18市町 (R7目標) 23市町
新たな交通サービスの導入に向けた取組件数 (R4実績) 11件 (R6目標) 19件 (R7目標) 19件

事業費

（単位：千円）

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回予算額	31,200	15,600	0	0	0	0	0	0	15,600
前年度当初予算額	68,000	34,000	0	0	0	0	0	0	34,000

※国庫支出金のうち、デジタル田園都市国家構想交付金（15,600千円）

令和6年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：交通輸送対策費
担当課	交通対策担当
事業名	広島県地域公共交通ビジョン推進事業（一部国庫）【一部新規】

目的

県全域を対象とした地域公共交通政策のマスタープランとして策定する「広島県地域公共交通ビジョン」の目指す姿の実現に向けて、ビジョン施策の基盤となるデータ整備や人材育成を進めるとともに、市町や事業者と一体となった利用促進策にも取り組む。

事業説明

対象者

県民、交通事業者、行政（国、県、市町）等

事業内容

(単位：千円)

区分	内容	今回予算額
モビリティデータ連携基盤	○データ活用に向けたダッシュボードの機能強化 ・交通データ、人流データ、行政データの集積及び可視化 ・上記データの交通政策への活用 ○市町等の担当者を対象としたデータ連携基盤研修会の開催	84,750
交通人材の育成	○市町等の担当者を対象とした交通計画策定研修会の開催	7,000
利用促進策の検討【一部新規】	○エリア分科会の運営 ・市町、交通事業者、学識者によるエリア分科会の運営 ○利用促進策等の検討、実施【新規】 ・エリア分科会での議論を踏まえ、利用促進策等の検討、実施 ○EVバス導入による新規利用者の獲得	11,495
広島県地域公共交通協議会運営費【一部新規】	○協議会の運営 ・県民代表、交通事業者、行政による法定協議会の運営 ○公共交通ビジョンのPDCA【新規】 ・住民アンケートの実施 ・評価指標における数値目標の達成状況を把握・評価	5,000
合 計		108,245

成果目標

- ワーク : 80 ネットワーク及び交通基盤の強化
- ワーク目標：拠点間のバス路線が維持された市町数
(R4実績) 23市町 (R6目標) 23市町 (R7目標) 23市町

事業費

(単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
今回予算額	108,245	45,875	0	0	0	0	0	0	62,370
前年度当初予算額	59,574	0	0	0	0	0	0	0	59,574

※国庫支出金のうち、デジタル田園都市国家構想交付金（45,875千円）

令和6年度当初予算・令和5年度2月補正

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費 款：土木費 項：道路橋梁費、河川海岸費、港湾費 目：道路新設改良費、海岸保全費、港湾建設費
担当課	都市圏魅力づくり推進課、道路整備課、港湾漁港整備課
事業名	靱地区振興推進費（一部国庫）

目的

靱地区の再生・活性化に向けたまちづくりを促進するために、生活利便性の向上や安全・安心の確保などを図ることを目的とした靱地区の地域振興に係る事業について、福山市と連携・協力し、地元住民の方々と意見交換を重ねながら、取組を進める。

事業説明

対象者

靱地区の住民

事業内容

(単位：千円)

内 容	今回予算額	
	令和5年度 2月補正予算	令和6年度 当初予算
町中の交通処理対策 【土木建築局】		
バイパス機能としての山側トンネル及び関連事業の調査設計、工事等の実施	—	931,000
電線地中化工事に係る調査設計の実施、並びに江之浦～焚場間の交通処理対策に必要な用地買収及び道路拡幅工事の実施	—	334,000
防災対策 【土木建築局】		
西町・道越地区及び江之浦～焚場地区における護岸の工事等の実施	—	313,400
交通・交流拠点等の整備 【土木建築局】		
交通・交流拠点等の工事等の実施	156,000	337,300
寄附募集のための情報発信等 【地域政策局】		
靱まちづくりビジョン（平成29年度福山市策定）を踏まえ、靱のまちづくりの取組に対する寄附を募るため、情報発信等を実施	—	15,416
合 計	156,000	1,931,116

成果目標

- R4実績
 - ・ 山側トンネル及び関連事業の調査設計・工事の実施
 - ・ 江之浦～焚場間の用地買収及び道路拡幅工事等の実施
 - ・ 西町・道越地区の起伏式ゲート等の整備、江之浦～焚場間の護岸の工事等の実施
 - ・ 交通・交流拠点等の工事等の実施
 - ・ 「靱・一口町方衆」応援プロジェクト寄附金収納（総額24,349千円）
 - 事業目標
 - ・ 靱地区住民の利便性向上及び安全・安心の確保
 - ・ 靱地区の再生・活性化の推進
- 〔(R6目標) 町中の交通処理対策、防災対策、交通・交流拠点等の整備及び寄附募集のための情報発信等の着実な実施〕

事業費

(単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳								
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源	
今回 予算額	令和6年度 当初予算	1,931,116	465,000	191,645	0	0	0	12,442	1,051,200	210,829
	令和5年度 2月補正予算	156,000	60,000	37,500	0	0	0	0	58,500	0
前年度	令和5年度 当初予算	3,239,891	1,206,000	232,560	0	0	0	12,359	1,534,300	254,672
	令和4年度 2月補正予算	1,260,000	660,000	0	0	0	0	0	600,000	0

